平成28年度

# ヤマサ工業株式会社

## 自動充填包装機の導入による「ほしものびより」の低コスト化および生産性向上




### 補助事業

### 中国からの輸入に頼らない自社製造で安定した利益の確保
### 一貫生産による強みを生かし、他社との差別化や優位性を図る

靴関係の小物として、主に靴用乾燥剤を製造販売している。乾燥剤は、雨や汗など靴の中で発生する湿気を素早く乾燥させるだけでなく、抗菌・防臭加工により、不快な臭いの発生を防ぎ、型崩れやカビの防止にも効果を発揮する。従来、小ロット対応により価格で勝負できていたが、最近は得意先の受注数が増加。生産工程における従来の手作業では、受注に十分対応できず、生産能力の限界に差し迫っていた。

靴用乾燥剤として主力となっているのが「ほしものびより」である。規格サイズに応じて、シリカゲルを不織布で袋詰めにした商品。製造工程は、従業員および内職に頼った手作業であるため、生産能力を超えると縫製加工・梱包に人手が必要となる。そのため小分けの袋詰め作業ができず、規格サイズに応じて袋詰めされたシリカゲルを中国から輸入しないと対応できない状況となっていた。輸入においては、仕入原価の高騰や為替レートの変動で、安定した利益の確保が難しい現状が続いている。また輸入する時は、一度に10万個を発注する必要があり、輸入にも1カ月半ほどの時間を要するため、急な増産には対応できず、在庫の保管スペースの問題もあり、過剰在庫で資金が固着。保管コストもかかるため、資金繰りを悪化させることにもなった。また作業環境の問題として、シリカゲルの袋詰めは作業場の周りで粉塵が発生し、計量の段階で作業者の周囲に浮遊するため、作業時はマスクを着用。素手で触ると手の水分が奪われ、手荒れが発生するという問題もある。

今回、これらの課題解決に向け導入した「自動充填包装機」によって、主力商品の生産性向上と生産工程の自動化を図った。



### 成果

### 自動計量で規格外の製品にも対応
### 作業環境だけでなく安全性もばっちり

同事業で導入した自動充填包装機は、シリカゲルの容量を自動計量することができ、不織布を自動裁断し、袋詰めした後に熱融着することで乾燥剤の中身が完成する。不織布のサイズはタイマーで調整が可能で、シリカゲルの容量も計量マスの変更により、規格外にも対応ができる。これにより生産能力が大幅に向上。旧作業の約5倍の生産能力で、安定した生産効率を確保することができるようになった。また中国から輸入する必要がなくなったため、仕入原価の高騰や為替変動のリスクも解消。自社で必要な分だけを短期間に製造できるようになったので、過剰在庫も解消され、資金繰りも改善した。また機械の作動部分には保護カバーが装着。緊急停止装置も備わり、作業環境だけでなく安全性も確保され、作業員が安心して仕事に取り組めるようにもなった。



### 今後の展開

### 急な製品の受注にも対応可能
### 新たな市場開拓にも期待大

機械の導入により、中国からの輸入に頼らない製造工程を確立することができたため、急な製品の受注にも対応することができるようになった。さらに現在、需要の規格は主にシリカゲル70gと100gとなっているが、将来的には20g、30g、50gなどの分量マスを組み合わせることで、さまざまな規格サイズに対応していくことができると考えている。その結果、従来の規定された靴用乾燥剤の市場以外に、メーカー向けの靴や鞄用の小型乾燥剤など、新たな市場開拓が期待できる。




### 会社紹介

### 日用雑貨の縫製加工業として靴関係の小物を製造
### ヒットは靴の中専用の乾燥剤「ほしものびより」




ものづくりの町・海南市で昭和57年に設立。日用雑貨の縫製加工業として靴関係の小物を製造しており、靴用乾燥剤がメイン商品となっています。中でもヒット商品となったのが、靴の中専用の乾燥剤「ほしものびより」です。ビジネスにパンプス、ブーツにスニーカーとどんな靴にも対応。水分を多く吸着しつつ、効力が弱まった時は天日干しで回復。繰り返し使える商品となっています。

**ヤマサ工業株式会社**

代表者：代表取締役　松村裕弘
設　立：昭和57年
資本金：1000万円
従業員：12名
業　種：バイオシル加工・日用雑貨縫製加工業
所在地：海南市且来57-2
ＴＥＬ：073-483-0296
ＦＡＸ：073-482-2509
E-MAIL：yamasa@celery.ocn.ne.jp